



第74回

学藝員のススメ

博物館の学芸員が、あれこれ語り倒すコーナー。



教養人・隆元が描いた扇子

山岡 裕子

戦国大名の毛利元就の長男・隆元は、武将の吉川元春と小早川隆景の兄です。幼くして守護大名の大内義隆の下に人質として出され、大内氏の城である山口の築山館（山口市）で元服します。父の元就と共に月山富田城（現在の島根県安来市）を攻めるなど多くの戦に参加し、厳島合戦の前に家督を譲られました。各地で奮戦しましたが永禄6年8月（1563年）、出雲国の尼子氏攻めに陣する前日に急逝してしまい、知らせを聞いた元就は大変嘆いたとされます。

隆元は、文化面でも優れた教養人だったと伝わる人物です。開催中の特別展「寿-毛利家と共に-」で展示している扇子には、銀砂子紙に墨で描かれたアシの上に隆元自筆の和歌と、裏面には鳥が描かれています。山口県指定文化財で、隆元の絵は雪舟の画風を継いだ画学修行の一端を示すものとして、文化史的にも興味深いものです。ぜひ、博物館でご覧ください。



特別展は3月1日まで



博物館HPはこちら